



部の運営方針・課の目標設定書(令和3年度)

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	飯田 秀勝
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。</p> <p>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」)の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。</li> <li>・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。さらに、GIGAスクール構想に基づき環境を整備するとともに、ICT教育を一層推進します。</li> <li>・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。</li> <li>・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。</li> <li>・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるよう取り組みます。</li> <li>・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。</li> <li>・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。</li> <li>・「学校施設個別施設計画」に基づき、子供達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくります。また、市内全中学校の体育館に空調設備を整備し、学習環境の充実に努めるとともに避難所を開設する際には、有効活用します。</li> <li>・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。</li> <li>○ 地域に根ざした教育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。</li> <li>・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。</li> </ul> </li> <li>○ 子どもの成長、自立への支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。</li> <li>・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの体験活動を子ども部と連携して実施します。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。</li> <li>・不登校等の児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課等と一層の連携を図ります。</li> <li>・適応指導教室「ヤング手賀沼」は、一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え、支援する20校目の学校として位置づけます。今年度は、これまでの湖北台東小学校1階での活動に加え、けやきプラザ1階フリースペース「手賀沼のうなぎさん家」に分校を設置し、支援環境の整備を図ります。</li> </ul> </li> </ul>				<p>・市費で配置しているALT、スクールサポート教員、安全管理員、用務員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努め、個に応じたよりきめ細かな学習指導及び安全指導、学校環境の整備を行うことができた。</p> <p>・我孫子市学校職員の働き方改革推進プランに基づき、教職員が生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるよう取り組んだ。</p> <p>・信頼される学校づくりを推進するため、各学校において教職員のモラールアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施した。教育委員会と各学校の連携を密にし、ストレスチェック等を活用し、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みした。</p> <p>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進した。また就学支援制度に係る業務を正確に遂行することができた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>教育総務部(総務課・学校教育課・指導課・教育研究所)の運営方針に掲げた目標を概ね達成することができた。</p> <p>本年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い年間を通して事業に影響が生じた。しかしながらコロナ禍の中、新しい生活様式を取り入れながら、2年度の経験を踏まえ、どうしたら行事等を実施できるかを考え工夫してできる限り事業を推進した。音楽発表会等やむを得ず中止となった行事もあるが、例年どおりの学習進度を確保、予定した教育課程を達成した。国のコロナ対策関連交付金などの活用により、感染対策物品の購入や前年度に繰越措置したGIGAスクール構想関連、中学校屋内運動場の空調整備など多額の事業予算を執行した。そのうち次年度に繰り越した中学校トイレ等改修事業や感染対策物品の購入など、引き続き繰越事業の執行を含め、部の運営方針の達成に努めていく。また、令和4年度から教育研究所は「教育相談センター」に名称を変更し、より市民から相談のしやすい施設となるよう事業を推進していく。</p>	

課コード	02	課名	学校教育課	課長名	鈴木 伸樹
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じたよりきめ細かな学習指導ができるようスクールサポート教員等の配置を適正に行います。</li> <li>・健康な子どもを育むために学校給食の充実を図ります。栄養教諭を中核とした「食に関する指導ハンドブック」の活用を図るとともに、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進します。</li> <li>・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検、保護者及び地域住民への見守りの協力、学校施設、設備、備品の充実を図り教育環境を整えます。</li> <li>・学校評議員会議で学校評価を実施するなど、地域に開かれた学校づくりを一層推進します。</li> <li>・平成31年施行「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」の進捗状況を安全衛生委員会や各学校からの報告等から検証し、より一層の働き方改革が進むように指導支援を継続していきます。</li> <li>・令和2年3月策定「学校施設個別施設計画」に基づき、地域における学校のあり方と適正規模についての検討を進めます。</li> </ul>				<p>○スクールサポート教員等の配置を適正に行い、個に応じたよりきめ細かな学習指導ができるようにした。</p> <p>○コロナ禍において、感染症対策をしっかり行いながら、健康な子どもを育むために、学校栄養職員を中核とした食育の推進を図った。また、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進した。</p> <p>○児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置した。通学路安全推進会議を実施し、警察等と協力した通学路の安全点検を行うことができた。各学校よりの依頼に応え、保護者及び地域住民の見守りの協力は得ることができた。</p> <p>○コロナ禍において、国の補助金等を活用して感染予防対策の備品や消耗品を充実させることができた。また、通常の予算においても学校施設や設備、備品の充実を図り、教育環境を整えることができた。</p> <p>○感染症対策を行いながら学校評議員会議を実施し、意見や学校評価を生かしながら、地域に開かれた学校づくりを推進することができた。</p> <p>○平成30年度に策定「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」の進捗状況を把握しながら、国の指針や県の目標に近づくように学校と協力しながら業務改善を進めてきた。安全衛生委員会を機能させ、実践を振り返り、プランの見直しを図り、なお一層の働き方改革を進めることが必要である。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
課内の学務、保健給食担当がそれぞれの事業を受け持っているが、繁忙期には的確かつ迅速に処理を要するため、担当間での協力、連携が極めて重要である。					

4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールサポート教員の人材確保と共に、臨時的任用講師の人材確保が必要である。</li> <li>・健康な子どもを育むために給食の推進に、給食施設や職員の配置等は大きな影響を与える。学校給食施設整備方針を策定したことから今後方針に基づき設備を整えていく。</li> </ul>	<p>(部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校施設個別施設計画」に基づき、今後の小中学校のあり方を引き続き検討していく。</li> <li>・学校予算の適正な執行に努めていく。</li> </ul>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重づけ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 スクールサポート教員の配置事業	重無	52102	スクールサポート教員の配置人数	人	7	7	7	100	結合
2 小中学校配置職員管理事業	重5	52101	会計年度任用職員配置定数(用務員17名、事務補佐員6名)	人	23	23	23	100	結合
3 教育扶助(要保護・準要保護児童生徒就学援助)事業	重4	52301	学校長の請求に基づき支給。	%	100	100	100	100	現状
4 児童・生徒・教職員健康診断事業	重5	52101	実施者数/児童・生徒・教職員健診対象者	%	97	99	97	97.98	結合
5 我孫子市学校保健会運営	重5	52101	生活習慣病予防検診実施者/対象者	%	46.4	80	112	140	結合
6 日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業	重5	52101	日本スポーツ振興センター災害共済申請事務件数	件	595	800	678	117.99	結合
7 学校給食備品管理事業	重5	52101	計画表に基づく、備品の設置率	%	52	80	28	35	結合
8 学校給食管理運営事業	重5	52101	安心・安全でおいしい学校給食の実施率	%	100	100	100	100	結合
9 我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業	重5	52101	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童	%	87.6	90	87.6	97.33	結合
10 学校の環境衛生事業	重4	52104	基準値内校/全19校	%	84	100	100	100	結合



5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
	事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	小中学校管理運営事業	重4	52104	学校への分配予算の平均執行率	%	90	95	100	105.26	結合
12	小学校の安全管理員の配置	重4	52104	未事故であった小学校	校	13	13	13	100	結合
13	小中学校備品管理事業	重4	52104	更新計画に基づく執行率	%	9	15	15	100	結合
14	学校評議員制度の充実	重無	52201	学校評議員による学校評価及び改善への学校の取組み状況。	%	80	90	80	88.89	結合
15	小中学校給食調理業務の民間委託事業	重無	83202	円滑な給食調理業務の民間委託実施校数	校	19	19	19	100	結合
16	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業	重4	52104	適切な事務の遂行。	%	100	100	100	100	結合
17	学校給食施設設備整備事業	重5	52101	修繕・工事の実施率	%	100	100	100	100	結合

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	飯田 秀勝
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。</li> <li>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」)の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。</li> <li>・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。さらに、GIGAスクール構想に基づき環境を整備するとともに、ICT教育を一層推進します。</li> <li>・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。</li> <li>・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。</li> <li>・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるよう取り組みます。</li> <li>・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。</li> <li>・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。</li> <li>・「学校施設個別施設計画」に基づき、子供達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくります。また、市内全中学校の体育館に空調設備を整備し、学習環境の充実に努めるとともに避難所を開設する際には、有効活用します。</li> <li>・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。</li> <li>○ 地域に根ざした教育の充実 ・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。</li> <li>・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。</li> <li>○ 子どもの成長、自立への支援</li> <li>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。</li> <li>・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの体験活動を子ども部と連携して実施します。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。</li> <li>・不登校等の児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課等と一層の連携を図ります。</li> <li>・適応指導教室「ヤング手賀沼」は、一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え、支援する20校目の学校として位置づけます。今年度は、これまでの湖北台東小学校1階での活動に加え、けやきプラザ11階フリースペース「手賀沼のうなぎさん家」に分校を設置し、支援環境の整備を図ります。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育全市展開しており、Abi☆小中一貫カリキュラムを改訂し、ランドデザインに沿って各中区ごとに児童生徒の実態及び地域の実情に合った特色ある教育を進めた。</li> <li>・GIGAスクール構想により全小中学生に1人一台のタブレット型端末の活用を進めた。</li> <li>・いじめアンケートやQ-U検査の結果を活用し、いじめの早期発見・早期対応に取り組んだ。いじめ担当嘱託職員がいることで学校との連携が一層密となり、素早く対応することができた。</li> <li>・幼保小連携・接続カリキュラムを活用し、幼保小の交流について継続的に進めてきたことで、連携が図られている。</li> <li>・学校支援地域本部事業の充実を図り、学校教育活動の支援をすることができた。</li> </ul>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>教育総務部(総務課・学校教育課・指導課・教育研究所)の運営方針に掲げた目標を概ね達成することができた。</p> <p>本年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い年間を通して事業に影響が生じた。しかしながらコロナ禍の中、新しい生活様式を取り入れながら、2年度の経験を踏まえ、どうしたら行事等を実施できるかを考え工夫してできる限り事業を推進した。音楽発表会等やむを得ず中止となった行事もあるが、例年どおりの学習進度を確保、予定した教育課程を達成した。国のコロナ対策関連交付金などの活用により、感染対策物品の購入や前年度に繰越措置したGIGAスクール構想関連、中学校屋内運動場の空調整備など多額の事業予算を執行した。そのうち次年度に繰り越した中学校トイレ等改修事業や感染対策物品の購入など、引き続き繰越事業の執行を含め、部の運営方針の達成に努めていく。また、令和4年度から教育研究所は「教育相談センター」に名称を変更し、より市民から相談のしやすい施設となるよう事業を推進していく。</p>	

課コード	03	課名	指導課	課長名	佐々木 祐子
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちに学習指導要領の示す「生きる力」を育むために、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の三つの力を育成する教育を、小中一貫教育の視点を持ちながら推進していきます。</li> <li>・人生を拓く「確かな学力」を育てるために、教職員の資質能力向上に向けた各種研修を充実させます。</li> <li>・言語活動の充実、体験的活動の充実、道徳教育の充実を図り、豊かな心の育成、望ましい人間関係の育成を図ります。</li> <li>・全国学力・学習状況調査及び市独自の学力調査の結果を有効に活用し、実践の検証を行うとともに、指導の評価・改善を継続的に進めます。</li> <li>・健やかな体の育成を目指し、教育活動全体を通じた体力の向上推進を図るとともに、食に関する教育に努め、健康教育を推進します。</li> <li>・GIGAスクール構想に基づき、ICT(情報通信技術)環境の整備を進めるとともに、情報活用能力の育成に努めます。また、インターネットや携帯端末を活用する上で重要な情報モラルの教育を進め、情報化社会に参画する態度の育成を図ります。</li> <li>・子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を推進するとともに、学校支援地域本部など地域で学校教育を支える仕組み作りを支援します。</li> <li>・小学校における外国語教科化および国際理解教育推進のため、ALT(外国語指導助手)の配置とその効果的な活用に努めます。</li> <li>・外国語・外国語活動において小中学校の円滑な接続ができるように、小学校教員、中学校教員とALT(外国語指導助手)との連携を密にします。</li> <li>・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区のランドデザインを基に、学校と保護者そして地域がお互いに協働し合いながら、それぞれの中学校区の特色を生かした教育を展開していけるように支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づいたカリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。</li> <li>・ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもを育成するため、地域の資源を生かした学習を進めていきます。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及び基本方針を踏まえ、市としての防止施策の実施及び各学校の防止具体策を支援します。また、いじめ防止対策委員会を年3回開催し、専門的かつ客観的な視点から、市及び学校における課題およびその防止策について検討し、改善に努めます。さらに、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう支援していきます。</li> <li>・Q-U検査の結果を有効に活用し、学級経営を支援します。</li> <li>・学校図書館の計画的活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。また、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館利用に伴う学校司書の効果的活用に向けた研修会や取組を進めます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成のため、教職員の資質能力向上に向けた各種研修を実施することができた。</li> <li>・全国学力・学習状況調査及び市独自の標準学力テストの結果を分析し、実践の検証を行うとともに、授業改善にいかしていくよう周知した。</li> <li>・情報活用能力の育成のため、ICT環境の整備を進めるとともに、インターネットや1人1台端末を活用する上で重要な情報モラル教育を進め、情報化社会に参画する態度の育成を図った。また、プログラミング教育の推進のため、Abi-ICTカリキュラムを改訂した。</li> <li>・子どもたちの発達段階に応じた、キャリア教育の全教育課程での実施を推進するとともに、学校支援地域本部など地域で学校教育を支える仕組み作りを強化した。</li> <li>・小学校における外国語教科化および国際理解教育推進のため、ALT(外国語指導助手)の配置とその効果的な活用に努めた。また、外国語・外国語活動の充実に向け、小中学校教員とALTとの連携、小学校専科とALTとの連携を強化し、小中学校の円滑な接続ができるような授業方法について検討を行った。</li> <li>・小中一貫教育推進基本計画を踏まえ、小中学校の実践を支援し、小中連携交流活動を実施した。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及び基本方針を踏まえ、いじめ防止対策委員会を年3回開催した。専門的かつ客観的な視点から、アンケートの分析内容や、市及び学校の防止策を検証し、今後の取組について検討した。</li> <li>・学校図書館の計画的活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めた。また、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館システムを導入し、学校図書館利用に伴う学校司書の効果的活用について研修会を実施し検証した。</li> </ul>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語・外国語活動の充実のため、ALTの増員及び指導方法に関する研修が必要です。</li> <li>・いじめの防止及び発生事案に対する対応を適切に行うために、きめ細かな学校への支援が必要です。</li> <li>・学校図書館環境の充実を図るため、学校司書の日常的配置とその効果について検証する必要があります。</li> <li>・学校支援地域本部事業推進のために、組織と連絡会議の充実が必要です。</li> </ul>					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育カリキュラムの改訂に伴い、教育課程へ組み込み、学校評価を実施して、引き続き推進する。</li> <li>・小中一貫教育の推進や学力向上に向けて、ALTやICT教育支援員や学校司書の効果的活用について、引き続き検証する。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の授業が実践できるよう、教職員の更なる資質向上を目指す。</li> <li>・いじめの未然防止や早期発見に向けて、アンケートや学校の取組について引き続き検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校区で作成したランドデザインにそって、引き続き小中一貫教育を推進する。</li> <li>・不登校等の児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課、こども発達センター等と一層の連携を図っていく。</li> </ul>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 キャリア教育の推進	重無	52201	「Abi-キャリア(「我孫子市キャリア・パスポート」を含む)」	校	19	19	19	100	結合
2 国際理解教育の推進	重無	43102	ALTの年間のべ勤務日数	日	2,592	2,592	2,592	100	結合
3 学校支援事業の充実	重無	52201	学校への支援ボランティアに参加したのべ人数	人	26,362	45,000	26,362	58.58	拡充
4 学力向上推進事業	重無	52102	標準学力調査結果(全国平均を1とした時の我孫子市の指数)	%	0.99	1.01	1.01	100	結合
5 小中学校体育・文化活動事業	重5	52101	市内の体育活動や小中体育連盟等の活動費助成割合	%	100	100	0	0	結合
6 教職員資質向上推進事業	重無	52102	教育委員会主催研修会受講者の満足度(アンケート調査)	%	98	90	98	108.89	結合
7 少年センター業務	重4	52302	少年指導員の街頭指導従事回数	人	750	800	812	101.5	現状
8 小中学校コンピュータ教育の推進	重無	52102	令和元年度学校基本調査を基準とした教育用タブレット型端末1	人	33.47	0.97	0.97	100	現状
9 子ども議会	重無	52202	子ども議員の意見の数	数	38	38	38	100	結合
10 ふるさとカリキュラムの実施	重無	52202	補助教材「ふるさと我孫子の先人たち」を活用した授業を実施し	%	100	100	100	100	結合

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	学級経営の支援	重無	52102	Q-U検査（WEBQUを含む）の結果や今後の学級経営について複	%	100	100	100	100	結合
12	幼保小連携	重5	52101	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」を基にテーマを設定	地区	0	5	5	100	結合
13	小中一貫教育の推進	重4	52103	Abi☆小中一貫カリキュラム授業の実施	回	30	24	30	125	結合
14	いじめ防止対策事業	重4	52302	我孫子市いじめ防止等に関する施策の実施	回	8	8	8	100	結合
15	学校図書館活用の推進	重無	52102	教育課程内で、授業者が学校図書館や市民図書館の図書を活用し	校	15	12	15	125	結合



部コード	15	部名	教育総務部	部長名	飯田 秀勝
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。</p> <p>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。</li> <li>・『小中一貫教育の推進』に努め、各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。さらに、GIGAスクール構想に基づき環境を整備するとともに、ICT教育を一層推進します。</li> <li>・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。</li> <li>・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等会計年度任用職員の効果的な活用と配置に努めます。</li> <li>・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるよう取り組みます。</li> <li>・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。</li> <li>・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。</li> <li>・「学校施設個別施設計画」に基づき、子供達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくります。また、市内全中学校の体育館に空調設備を整備し、学習環境の充実に努めるとともに避難所を開設する際には、有効活用します。</li> <li>・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。</li> </ul> <p>○ 地域に根ざした教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。</li> <li>・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。</li> </ul> <p>○ 子どもの成長、自立への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。</li> <li>・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの体験活動を子ども部と連携して実施します。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。</li> <li>・不登校等の児童生徒を支援するために、学校、保護者、子ども相談課等と一層の連携を図ります。</li> <li>・適応指導教室「ヤング手賀沼」は、一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え、支援する20校目の学校として位置づけます。今年度は、これまでの湖北台東小学校1階での活動に加え、けやきプラザ11階フリースペース「手賀沼のうなぎさん家」に分校を設置し、支援環境の整備を図ります。</li> </ul>				<p>特別支援教育推進事業における学級支援員の派遣、長期欠席児童生徒対策における「ヤング手賀沼」の運営、子どもの成長、自立への支援における教育・発達相談の充実と他機関との連携について、おおむね目標を達成することができています。</p> <p>しかし、長期欠席児童生徒対策における不登校数は、増加しており、今まで以上に対策を講じる必要があります。また、学級支援員や心の教室相談員、医療的ケアの看護師、通訳、日本語指導の派遣についても、適正な配置ができるように巡回相談等で学校の状況を常に把握していく必要があります。</p> <p>ヤング手賀沼については、分室がけやきプラザの11階で活動することができ、登室人数が増えています。支援環境をより整備し、児童生徒が安心して通えるようにしていきます。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>教育総務部(総務課・学校教育課・指導課・教育研究所)の運営方針に掲げた目標を概ね達成することができた。</p> <p>本年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い年間を通して事業に影響が生じた。しかしながらコロナ禍の中、新しい生活様式を取り入れながら、2年度の経験を踏まえ、どうしたら行事等を実施できるかを考え工夫してできる限り事業を推進した。音楽発表会等やむを得ず中止となった行事もあるが、例年どおりの学習進度を確保、予定した教育課程を達成した。国のコロナ対策関連交付金などの活用により、感染対策物品の購入や前年度に繰越措置したGIGAスクール構想関連、中学校屋内運動場の空調整備など多額の事業予算を執行した。そのうち本年度に繰り越した中学校トイレ等改修事業や感染対策物品の購入など、引き続き繰越事業の執行を含め、部の運営方針の達成に努めていく。また、令和4年度から教育研究所は「教育相談センター」に名称を変更し、より市民から相談のしやすい施設となるよう事業を推進していく。</p>	

課コード	04	課名	教育研究所	課長名	遠藤 美香
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>1. 教育・発達相談事業を強化します。子どもの健やかな育ちを支えるために、子どもと保護者の相談に適切に対応し、学校をはじめ関係機関と連携をしていきます。</p> <p>2. 特別支援教育を充実させ、児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応する教育を進めていきます。</p> <p>(1) 教育研究所アドバイザー事業や巡回事業、教職員研修の実施等を通して、児童生徒の支援の充実及び特別支援教育コーディネーターを核にした校内委員会の機能充実と強化に努めます。</p> <p>(2) 児童生徒への指導・支援が適切かつ効果的に行われるよう、教育課程の再考と個別的教育支援計画・指導計画の作成と活用の充実を図ります。</p> <p>(3) 児童生徒の将来を見据えた切れ目ない支援に向けて、関係機関との連携を療育・教育システム連絡会で図ります。</p> <p>(4) 保護者が児童生徒の実態に合わせた就学先を選択できるように、教育支援委員会の適切な運営と就学相談の充実を図ります。</p> <p>3. 長欠児童生徒対策の強化をしていきます。不登校の予防・解消が図られるよう、学校との協力体制を強化して、児童生徒及び保護者を支援していきます。</p> <p>(1) 心の教室相談員(在宅訪問指導員)や我孫子市適応指導教室「ヤング手賀沼」、教育研究所等の関係機関と学校との連携を密にし、支援体制を強化して学校教育を支えています。</p> <p>(2) 長欠対策連絡協議会を充実させ、学校と関係機関との連携とともに、小・中学校間の接続を円滑にして、連携をさらに強化します。</p> <p>(3) 適応指導教室「ヤング手賀沼」は、西部地区に分校を設置し、機能強化を推進します。</p> <p>4. 地域学習の充実を図るため、社会科副読本「わたしたちの我孫子」の改訂作業を進めます。</p> <p>5. 「小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン」の事業手法を検討します。いじめ・悩み相談ミニレターを配布し、児童生徒の困り感を吸い上げられるようにします。また、関係機関と連携しながら、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、児童生徒の困り感の軽減や解消に努めます。</p>				<p>1. 教育・発達相談事業を強化しました。相談員のスキルアップを図り、子どもの健やかな育ちを支えるために、子どもと保護者の相談に適切に対応し、学校をはじめ関係機関と連携しました。</p> <p>2. 特別支援教育を充実させ、児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応する教育を進めました。</p> <p>(1) 特別支援教育コーディネーターを核にした校内委員会の機能充実と強化のために、アドバイザーを派遣し、校内体制の整備を図りました。</p> <p>(2) 教育課程の再考と個別的教育支援計画・指導計画の作成と活用の充実を図り、巡回事業では計画の確認、指導を行いました。</p> <p>(3) 切れ目ない支援に向けて、関係機関との連携を療育・教育システム連絡会で図りました。</p> <p>(4) 保護者が児童生徒の実態に合わせた就学先を選択できるように、教育支援委員会の適切な運営と就学相談・支援の充実を図りました。</p> <p>3. 長欠児童生徒対策の強化をしました。不登校の予防・解消が図られるよう、学校との協力体制を強化しました。</p> <p>(1) 心の教室相談員(在宅訪問指導員)や我孫子市適応指導教室「ヤング手賀沼」、教育研究所等の関係機関と学校との連携を密にし、支援体制を強化しました。</p> <p>(2) 長欠対策連絡協議会を利用し、小・中学校間の接続を円滑にしました。また、学校と関係機関との連携をさらに強化しました。</p> <p>(3) 適応指導教室「ヤング手賀沼」は、けやきプラザ11階に分室を開室し、支援の充実を図ることができました。</p> <p>4. 地域学習の充実を図るため、社会科副読本「わたしたちの我孫子」の改訂作業を進めました。</p> <p>5. 「小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン」の事業手法を検討しました。いじめ・悩み相談ミニレターを配布し、児童生徒の困り感を吸い上げられるようにしました。また、関係機関と連携しながら、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、児童生徒の困り感の軽減や解消に努めました。</p>	
3. 課の目標を達成する上で課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>1. 教育・発達相談事業やアドバイザー事業の推進と充実。学校との連携強化。</p> <p>2. 特別支援教育の推進を図るために、特別支援教育コーディネーターや支援学級担任の人材育成が必要。</p> <p>3. 不登校のさらなる解消を図るために、関係機関と学校との密接な連携や小中学校間の接続を円滑にするシステムを構築する必要がある。家庭支援を組織的に行うシステムの構築も必要である。</p> <p>4. ヤング手賀沼を20校目の学校と位置づけ、学校と同等の教育が受けられるように整備する。</p>					

4. 原因分析・改善策	
(課長) 教育・発達相談事業、アドバイザー事業等を担う心理相談員は、子どもの発達課題や問題が年齢が上がるにつれて多岐にわたり、複雑化するようになり、相談員の高度なスキルが求められます。相談員は、常に自己研鑽し続けられる人材が必要になります。その人材確保が困難になっています。 不登校児童生徒の数が増加しています。新たな不登校児童生徒を生まない学校運営と仕組み作りが必要になっています。学校と教育研究所、指導課等関係機関が連携し、一丸となって対応する必要があります。	(部長) 研究所の事業推進には、業務の整理、見える化を図ったうえで、人材の確保が重要であると考えます。そして、児童生徒や保護者に関わるすべての人が、知識と対応技術力を身につけられるように、人材育成が必要です。教育研究所は、専門職が配置されていることから、人材育成も重要な役割として担っています。研究所内の専門職と指導主事が協力し、学校や教職員のスキルアップが図れるようにし、事業推進に努めていくことが問題解決につながると思います。

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率(%)	評 価
1 教育支援委員会の運営	重4	52301	教育支援委員会で最適な就学先を決定するための、就学児童生徒審	件数	132	140	160	114.29	結合
2 小中学校教師用教科書及び指導書の配付	重無	52102	必要数に対する配布数の割合	%	100	100	100	100	結合
3 教職員研究論文の発行	重無	52102	論文内容の充実度	%	80	100	80	80	結合
4 学級支援員派遣事業	重4	52301	対象児童生徒への配置率	%	100	100	100	100	結合
5 教育研究所巡回事業	重4	52301	「個別的教育支援計画・個別の指導計画」作成率	%	95	100	99	99	結合
6 特別支援教育推進事業	重4	52301	校内委員会開催数	回	201	225	215	95.56	結合
7 教育研究所アドバイザー事業	重4	52301	アドバイザーの支援が役に立った率・満足度(全校にアンケート)	%	80	100	100	100	結合
8 就学相談事業	重4	52301	就学相談で助言した就学先と保護者が選択した就学先の一致率	%	82.6	80	380	475	結合
9 長欠対策事業	重4	52301	年間対応件数	件数	6,000	6,500	213	3,051.64	結合
10 教育相談・発達相談事業	重4	52301	継続ケースの保護者にアンケートを実施し、相談の満足度をはか	%	90	100	94.4	94.4	結合

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営	重4	52301	ヤング手賀沼に通級している児童生徒の出席率	%	49.9	60	50	83.33	結合
12	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂	重無	52202	内容を検討し指導計画及び評価問題を改訂した割合	%	80	100	100	100	結合
13	小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン	重4	52302	児童生徒の相談件数	件	27	50	28	56	結合